

有識者意見の概要及び意見に対する対応

<p>1. 調査研究課題名 政策効果の分析システムに関する研究 輸送コストを考慮した産業立地ポテンシャルモデルの構築について（九州地域を事例として）</p>	
<p>2. 有識者意見の概要及び対応 政策効果分析システムに関する研究会WG 森杉壽芳 東北大学教授、上田孝行 東京大学教授（座長）、石川良文 南山大学助教授、 小池淳司 鳥取大学助教授、大橋忠宏 弘前大学助教授、宅間文夫 明海大学講師、 石黒一彦 神戸大学講師、河野達仁 東北大学講師</p>	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流については、交易额ベースで考慮しており、かつ、域外との輸送経路を港湾に限定している旨を明記すべき。 ・ コンテナの高付加価値化など、貨物量あたりの価値額が変化する場合、交易を物流に変換する際に生じる課題についても整理しておくが良い。 ・ 本モデルで設定した港湾以外にも長崎港などコンテナ取扱港があるので、これらを追加してはどうか。 ・ 現況の再現性を確認すること。 ・ 産業立地ポテンシャルモデルの再現性は、産業によっては必ずしも精度良く出ないものがあるが、可能な範囲で様々な改良を試みた結果であり、限界であると考えられる。 ・ モデルの構造上、海外との物流は港湾のみを考慮しており、航空物流を考慮できていない点は明示することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の記述を追記し、課題を明記した。（第6章） ・ 本モデルで設定した以外のコンテナ取扱量は、公共貨物全体からみるとかなり小さいので、今回は公共貨物量をもとに設定した。品目・業種によっては重要な要素であるので、今後の検討課題とした。 ・ 現況再現性を確認するグラフを追加した。（第3章） ・ 成果のまとめに、今回のモデルにおける課題について列挙した。（第6章）